

日本共産党 西宮市会報告

2014年1月 NO.95

発行/ 日本共産党西宮市会議員団 西宮市六湛寺町10番3号（西宮市役所内）
 Eメール: nmc30547@nishi.or.jp TEL.0798-35-3368 FAX.0798-22-7815
 ホームページ <http://nishinomiya.jcp.giin.net/>

秘密保護法 撤廃させよう!

「特定秘密保護法の強行可決に抗議し、ただちに撤廃を求める意見書」を提案、採択をめざしました。

特定秘密保護法案が11月26日衆議院で強行採決され、日本共産党西宮市会議員団は、国会会期末の12月6日までに市議会で「廃案を求める」意見書が採択できるよう、3日の本会議に日程追加することを求めましたが、他会派の賛同が得られませんでした。そこで、「特定秘密保護法の強行可決に抗議し、ただちに撤廃を求める意見書」を無所属のよつや、たかはし議員と共同提案し、採択をめざしました。

意見書案では、①行政機関の長が「秘密」と特定した情報は国民に明らかにされず、秘密の範囲があいまいで、国民から見れば「何が秘密なのか」わからないまま、厳罰に処せられる可能性があること。②日本国憲法の国民主権、基本的人権、平和主義に反するものであること。③すべての情報は、本来、主権者たる国民のものであり、国民の知る権利を担保する内部告発や取材活動を委縮させる可能性があるこの法律は、情報隠蔽を助長し、民主主義の理念に相反する法律となることは明白である、としています。

また、この法律に対し日本弁護士連合会、日本ジャーナリスト会議、日本ペンクラブ等、国民の間に反対や懸念の声がかつてなく広がったにもかかわらず、審議を尽くさないまま衆議院に続いて参議院でも強行採決が行われたことに対して満身の怒りを込めて抗議、ただちに撤廃を求めています。

意見書案は議会最終日の19日、政新会、公明党、蒼士会、むの会が反対し、賛成少数で否決されました。

日本共産党市議団は撤廃させるためみなさんと一緒に引き続き頑張ります。



今議会、中央病院の経営改善と移転建て替えについても焦点となりました。一部の議員は、中央病院の移転

公立病院として 救急医療等の充実を

建て替えは「浪費」と主張しています。しかし、市立中央病院は西宮の地域医療を担うと同時に、民間ではできない採算性の低い分野を支えてています。この中央病院をなくすことは、西宮市が市民の命と健康をまもることを放棄することになりかねません。日本共産党議員団は、公立病院として救急などを含め、より充実した医療を提供することこそ、西宮市の役割だと考えます。よって、中央病院の用地取得等について議案に賛成をしました。

①老朽化している中央病院や西宮消防署などは、現地建て替えは困難であり、必要な施設の移転建てる、②当初提案されていた南北道路整備の用地購入は撤回された、などの理由から、補正予算案に賛成しました。



2014年 今年も
がんばります

安倍政権の暴走ストップ!



衆・参選挙で多数の議席を獲得した安倍自公政権は、消費税の増税、社会保障の改悪、TPP参加交渉など、くらしも経済も破壊する暴走を強め、市民の中に危機感と怒りを広げています。

なかでも、国民の知る権利を侵害し、戦争する国づくりのための秘密保護法の衆参両院での強行採決で、さらに市民の怒りは強まり、成立後も「撤廃を」の世論は広がり続けています。

かい、暴走を食い止めるために力を尽くします。

アサヒビール跡地 必要施設の移転は妥当

日本共産党西宮市会議員団は、市民のみなさんと力を合わせ、自由、民主主義、平和を踏みにじる

12月議会の最大の焦点はアサヒビール工場跡地の西宮市による購入問題でした。市議会では、「跡地購入に反対」「全部購入すべき」など様々な意見がありました。

西宮市は、アサヒビール跡地約10ヘクタールのうち、約3・8ヘクタールを用地取得するとして、今議会、総額68・8億円の債務負担行為を設定する補正予算案を提案しました。

日本共産党西宮市会議員団は、

消防署などは、現地建て替えは困難であり、必要な施設の移転建て替えのための用地購入は妥当である、②当初提案されていた南北道路整備の用地購入は撤回された、などの理由から、補正予算案に賛成しました。

一般質問

UR借り上げ市営住宅 新たな方針へ 新継続入居の可能性含む

水道料金見直しへ

現在の水道料金は、「基本水量制」で1か月10㎥1040円。しかし、単身世帯の増加、核家族化、節水型機器の普及等で、家庭内での水使用が減少しています。

使用量が10㎥未満でも同料金となり、市議団にも「1人暮らしで水を使っていないのに毎月同じ金額を請求される。使用した分の料金支払いにしてほしい」と要望が寄せられていました。

市議団では、この見直しと合わせて約23億円(2012年度)の高い水準にある内部留保金を活用した水道料金の引き下げを要望してきました。

昨年7月10日に西宮市水道事業経営審議会より「『基本水量制』を廃止すべき方向を目指すことが妥当である」との報告が出されました。

12月議会では、「基本水量制」の廃止を検討するとの市の考えが示されましたが、基本料金の金額や時期については明言しませんでした。



まつお正秀議員

UR借り上げ市営住宅問題の質問は、今回で8議会連続となりました。市は要配慮世帯(重度の障害者・要介護3以上)の移転について、五年の猶予を与え方針を示しています。

昨年の9月議会では、要

配慮世帯に該当しない世帯で個別事情が生じた場合、無理に転居を求める事はできない、と当局は答弁しました。

まつお正秀議員は、そうした世帯の今後の対応についてするべく追及。市は医療、介護や福祉の専門家、

弁護士などの学識者などがR借り上げ住宅返還に関するアドバイザー会議」を速やかに立ち上げ、その意見によっては、これまでの方針変更も含めた継続入居の判断を行なうという、新たな方針を示しました。

ことから、あらためて市長の核兵器廃絶に向けた決意を求めました。

さらに、その具体化となる核兵器禁止条約の締結を国に働きかけ、その交渉を各国に求める署名活動の強化を要請しました。

また、被爆者の高齢化の中で、原爆写真パネル展の開催や、再来年に行なわれるNPT(核不拡散条約)

再検討会議成功に向けた国際要請行動に、市から代表を派遣するよう提案も行ないました。



介護保険「改正」に 市長「危惧」表明



野口あけみ議員

の優先入所を指導しており影響は少ない」としました。

した。

国は総合事業費用に上限を設け、市に削減目標と計画を押し付ける方針としており、「現行サービスに加えて」などというのは間違いだ」と正しました。

野口議員は「待機者が2千人以上いる事態に慣れきった立場からの意見だ。市民は衝撃を持って受け止めている」と厳しく批判。

また、要支援者の6割が利用している訪問介護と通所介護を市町村が行う総合事業に移行させ、ボランティアの活用等を検討している問題で市は、「現行サービスに加えてさらに選択の幅を広げることになるかなに制限する案に対し市は、「市として反対の意思を示すべき」と追及しました。

特養入所を要介護3以上手あたり次第の給付減と負担増の介護保険「改正」について、野口あけみ議員は市民に及ぼす影響を問い合わせ、「市として反対の意思を示すべき」と追及しました。

特養入所を要介護3以上手あたり次第の給付減と負担増の介護保険「改正」について、野口あけみ議員は市民に及ぼす影響を問い合わせ、「市として反対の意思を示すべき」と追及しました。

公立も、私立も 幼稚園への支援拡充を



次に野口議員は公立幼稚園について質問。「私立と比べ一人当たり運営経費が高すぎる」という意見に対

し、公立の保育室を最大限活用し、4歳児クラスを増やせばむしろ同経費は私立充実のため公私両方への支援拡充を求めました。

お気軽にご相談ください



まつお
正秀
西宮市能登町12-58-108
☎ 34-0775



野口
あけみ
西宮市今津野田町4-18
☎ 34-7329



上田
さち子
西宮市川添町5-18
☎ 35-2813



佐藤
みち子
幹事長
西宮市高須町1-7-5-206
☎ 42-2856



杉山たかのり
西宮市津門仁辺町5-21
☎ 35-1682